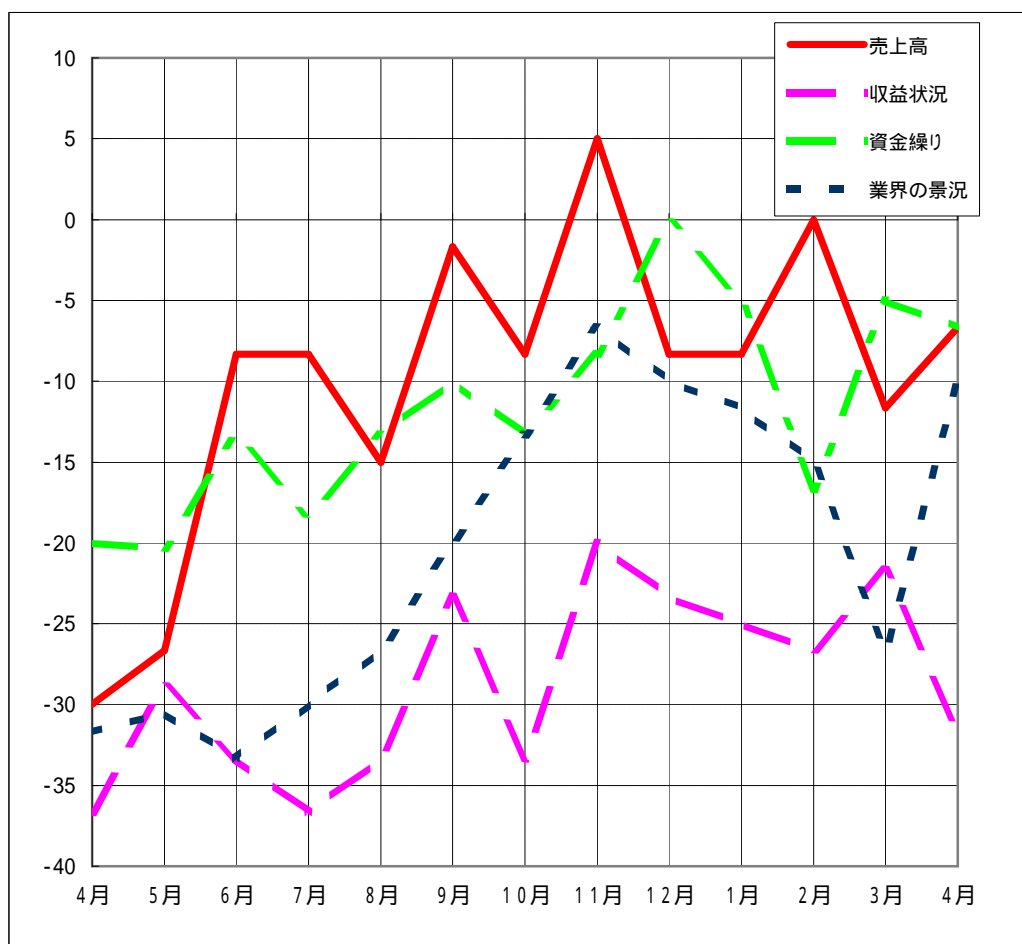


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成17年4月～平成18年4月

単位:ポイント



	H17						H18						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
売上高	-30.0	-26.7	-8.3	-8.3	-15.0	-1.7	-8.3	5.0	-8.3	-8.3	0.0	-11.7	-6.7
収益状況	-36.7	-28.8	-33.3	-36.7	-33.3	-23.3	-33.3	-20.0	-23.3	-25.0	-26.7	-21.7	-31.7
資金繰り	-20.0	-20.3	-13.3	-18.3	-13.3	-10.0	-13.3	-8.3	0.0	-5.0	-16.7	-5.0	-6.7
業界の景況	-31.7	-30.5	-33.3	-30.0	-26.7	-20.0	-13.3	-6.7	-10.0	-11.7	-15.0	-26.7	-10.0

4月のDI値をみると、前年同月より上記全項目で好転した。

「売上高」については前年同月より23.3ポイント、「資金繰り」については13.3ポイント好転し、それぞれマイナス桁台に推移、「収益状況」については5.0ポイント、「業界の景況」については21.7ポイントの好転でマイナス幅を縮めた。

ここ3ヶ月の景況は、一進一退に推移しており、なかでも「収益状況」が引き続き厳しい状況下にある。

組合の特記事項から、製造業では「鉄鋼・金属」の一部で、企業間格差はあるものの受注は安定しているとの報告が見受けられた。しかし全体的には石油価格高騰の影響で収益性が厳しいとする報告が多い。

また非製造業においては、不変もしくは少々前年を下回るという報告が多かった。また、販売価格の上昇につき売上高は増加しているが販売数量の減及び取引条件の悪化を懸念する声が見られた。中小企業の景況は、原材料費高騰、先行きの不透明感への危惧等厳しい現況が窺える。